

対策KW

社内表彰 アイデア

タイトル

社内表彰のアイデア | モチベーションアップが期待できる選考基準とは？

文字数

【構成】3900文字 【記事】3852文字

想定読者

【ユーザー属性(年代/性別/職業など)】

社内表彰など従業員のモチベーション向上を目的に、社内イベントを開催したい企業の担当者。

【検索意図(検索するに至った背景/状況のシチュエーション)】

社内表彰を企画するにあたって何か面白いアイデアがないか探す中で、検索に至った。

【顕在ニーズ(顕在化している悩み・ニーズ)】

- ・社内表彰のおもしろアイデアを知りたい。
- ・社内表彰にはどんな種類があるのか知りたい。
- ・社内表彰の選考基準について知りたい。
- ・社内表彰におすすめの景品があれば知りたい。

【潜在ニーズ(潜在化している悩み・ニーズ)】

社内表彰を成功させて、社内エンゲージメントの向上や社員のモチベーションアップを図りたい。

記事方針

【競合分析(競合となる検索上位記事の特徴/傾向)】

社内表彰の解説やアイデア、選考基準、メリットなどを紹介するコンテンツが検索上位にランクインしている。

【本記事の売り(オリジナリティ=競合優位性を作るポイント)】

社内表彰のアイデアや選考基準、メリット・デメリットなどを網羅的に紹介した上で、イベントプロデューズ会社に社内表彰などのイベントプロデューズを依頼するメリットを紹介する。さらに貴社の実績を紹介することで、権威性を獲得しお問い合わせにつながる記事コンテンツとする。

【ゴール設定(記事を読み終えたユーザーに与えられるもの)】

- ・社内表彰の開催意義が明確になる。
- ・社内表彰のアイデアが見つかる。
- ・社内イベントのプロデューズに長けた会社や依頼するメリットがわかるようになる。
- ・社内表彰を開催することで、社内エンゲージメントの向上やモチベーション向上につながると確信を持てるようになる。

関連KW (サジェスト)

社員表彰 種類
社内表彰 選考基準
社内 表彰 いない
社内表彰 おもしろ
社内表彰 景品
社内 表彰 記念 品
社内 表彰 商品
社内表彰制度 作り方
社内 表彰 モチベーション

アウトライン

タイトル:社内表彰のアイデア | モチベーションアップが期待できる選考基準とは？

導入文(200文字)

h2:社内表彰制度の導入意義とは？(200文字)

- ・会社として従業員に感謝の気持ちを表すために導入されることが多い。
- ・労働基準法の就業規則に記載する必要がある。
- ・選考基準は企業が自由に決定できる。

h2:社内表彰制度を導入するメリット(700文字)

リード文(100文字)

h3:社員のモチベーションアップが期待できる(200文字)

- ・成果をわかりやすいかたちで認めてもらえるため、仕事に対する姿勢が前向きになる。

h3:社内エンゲージメントの向上につながる(200文字)

- ・社内エンゲージメントとは、企業と社員の信頼関係のこと。
- ・従業員満足度との違いは、働きやすさ改革をもって社員の意欲を高めようとしているわけではない点にある。
- ・頑張りを認めてくれる企業だとわかれば、企業と社員の信頼関係向上に役立つ。

h3:会社が理想とする社員像を暗に伝えられる(200文字)

- ・表彰制度として理由をつけて社員を讃えることで、他の社員の模範となる社員像を伝えられる。

h2:社内表彰制度を導入するデメリット(500文字)

リード文(100文字)

h3:導入や管理にコストがかかる(200文字)

- ・仕組み作りや表彰対象の選定に時間がかかる。

h3:選定基準を間違えると社員のモチベーションダウンにつながる可能性がある(200文字)

- ・公平に選定しないと、影で頑張っている社員がやる気を無くしてしまう恐れがある。

h2:社内表彰制度の面白いアイデア(750文字)

リード文(150文字)

- ・新人賞やMVP賞など一般的な選考基準ではなく、ユニークな表彰制度の一例を紹介することを解説。

h3:失敗した社員を表彰(150文字)

- ・失敗しても諦めずに業務を遂行したことを讃えるための表彰制度であることを解説。

h3:新人教育で活躍した社員を表彰(150文字)

- ・新人教育で活躍した社員を表彰することで、人材の早期即戦力化を図れる。

h3:褒め上手な社員を表彰(150文字)

- ・褒め上手な社員を表彰すれば、教育担当や部長・課長クラスなどに適切な褒め方を暗に伝え

ることができる。

h3: 社員から感謝されている社員を表彰(150文字)

- ・現場レベルで評価されている社員を表彰することで、影で頑張っている社員を讃えることができる。

h2: 社内表彰制度の選考基準とは？(600文字)

リード文(150文字)

- ・選考基準は独自に決定できることを解説。
- ・異なる選考基準を導入すれば、毎回異なる社員を表彰できる可能性が上がる。

h3: 公平性を保つ(150文字)

- ・毎回同じ社員や部署を表彰しないように配慮する大切さを解説。

h3: 他の社員が納得できる根拠を基に選定する(150文字)

- ・数値など客観的に見ても納得できる根拠がある社員を選定する。

h3: 企業理念に沿って行動している社員を選定する(150文字)

- ・選考基準の透明性を保つためにも、表彰対象の社員が企業理念に沿って行動しているかについても検討する。

h2: 社内表彰制度を導入したいならイベントプロデュース会社への依頼がおすすめ(750文字)

リード文(150文字)

- ・イベントプロデュース会社とは何か解説。

h3: イベントプロデュース会社に社内表彰制度の運営を依頼するメリット(300文字)

- ・企画内容に沿って会場選定や装飾、運営などをトータルサポートしてもらえる。
- ・社内イベントを運営する上で注意すべきポイントなどノウハウがあるため、社内表彰を成功させやすくなる。

h3: 社内表彰のアイデアならトーガンにお任せを(300文字)

- ・貴社の実績を紹介。
- ・クライアントが抱えていた課題と、貴社が提案した解決策をメインで伝える。

h2: アイデアを工夫して社内表彰を成功させよう(200文字)

- ・記事のまとめとお問い合わせへの誘導。

参考URL

<https://www.newsbase.co.jp/blog/event-idea/employees-introduction-awards-points/>
<https://thanks-gift.net/column/engagement/in-house-award-system-idea/>
<https://tunag.jp/ja/contents/hr-column/23212/#toc-index>
<https://bowgl.com/award-unique/>
https://ourly.jp/corporate-awards/#index_id9

▼以下本文

会社への貢献度が高い社員に感謝を表すなら、社内表彰制度の導入がおすすめです。
この記事では、導入するメリットやデメリット、面白いアイデア、選考基準などを紹介します。
社内表彰制度を成功に導くポイントについてもお伝えするので、参考にしてください。

社内表彰制度の導入意義とは？

社内表彰制度とは、会社に貢献した社員を讃えるために開催される制度です。
会社として貢献度の高い社員に感謝の意を表すことを目的に開催されるのが一般的だと言えるでしょう。

社内表彰制度を導入する場合、労働基準法により就業規則への記載が求められます。
とはいえ、選考基準は会社が独自に決定可能です。
縁の下の力持ちのような、日頃目立たない努力を重ねている社員を表彰するのも良いでしょう。

社内表彰制度を導入するメリット

社員の貢献に感謝を示すために開催される社内表彰制度。
個別に感謝を伝えるのではなく他の社員の前で模範となるような従業員を表彰することに、どのようなメリットがあるのでしょうか。

社員のモチベーションアップが期待できる

全社員の前で営業成績や勤務態度などを表彰すれば、モチベーションアップが期待できます。
頑張った分だけ認めもらえる会社だと認知されることで、会社への帰属意識が向上するきっかけにもなるでしょう。

会社とし部署や役職関係なく、全社員を公平に評価しているとアピールする場にもなります。

選考基準を明確にした上で社内表彰制度を導入すれば、社員にとって良い刺激になることに違いありません。

社内エンゲージメントの向上につながる

社内エンゲージメントとは、企業と社員の信頼関係を意味します。
社内表彰制度を導入すれば頑張りを適切に認めてくれる会社だと社員に伝わるでしょう。
その結果、信頼関係の向上につながるという効果が期待できます。

なお社内エンゲージメントと混同されがちな言葉に、従業員満足度が挙げられます。
働きやすさ改革をもって社員の意欲を高めようとする従業員満足度に対して、社内エンゲージメントはあくまでも信頼関係をベースにどのくらい会社に愛着を持っているかという指標です。

社内エンゲージメントが向上すれば、自発的に会社に貢献しようとする社員が増えるでしょう。

会社が理想とする社員像を暗に伝えられる

模範となる社員を讃えることで、会社が理想とする社員像を暗に伝えられるというメリットもあります。

表彰前に、選考基準や表彰に至るエピソードを必ず紹介しましょう。
社員にこういった貢献や行動が表彰につながるのか伝えれば、表彰された社員の行動を模倣する社員が増えるかもしれません。

社内表彰制度を導入するデメリット

社員の意欲を刺激するなど、メリットばかりのように思える社内表彰制度。しかし導入前にきちんと検討すべき事項もあります。ここでは、導入することで起こり得るデメリットを紹介するので参考にしてください。

導入や管理にコストがかかる

透明性を保ち全社員を公平に評価するためには、リソースがかかります。選考対象の選定から表彰式の会場作り、場合によっては記念品の準備など、導入や管理にコストがかかる可能性は否定できないでしょう。

選定基準を間違えると社員のモチベーションダウンにつながる可能性がある

公平性を保てないと、影で頑張っている社員がやる気を無くす恐れがあります。社内表彰制度を導入するのであれば、選考基準を明確にした上で誰もが納得する表彰理由を発表するなどの工夫が必要です。

社員のモチベーション向上を目的に社内表彰制度を導入する会社は少なくありません。しかし、選考基準を間違えるとかえって社員のやる気を削いでしまう制度だということを理解しておきましょう。

社内表彰制度の面白いアイデア

社内表彰制度の選考基準は会社独自に決定できます。中には新人賞やMVP賞など一般的な選考基準ではなく、ユニークな表彰制度を設けている会社もあるので一例を紹介します。

失敗した社員を表彰

社内表彰制度の面白いアイデアとして、失敗した社員を表彰するケースがあります。失敗しても諦めずに業務を遂行した姿勢を讃えるために導入されるケースがあるようです。

新商品の開発など柔軟な発想が求められる業界でこの選考基準を導入した場合、これまでなかったようなアイデアが誕生する可能性があるでしょう。

新人教育で活躍した社員を表彰

新人教育で活躍した社員を表彰するのもおすすめです。表彰理由や該当社員の教育方針を発表すれば、やり方を模倣する社員が増えるでしょう。その結果、人材の早期即戦力化を図れるようになります。

褒め上手な社員を表彰

褒め上手な社員を表彰すると、教育担当や部長・課長クラスなどに適切な褒め方を暗に伝えられるというメリットがあります。

日本社会では褒める文化がないため、部下の育成方法や評価方法に迷う管理職が少なくありません。しかし、褒め上手な社員を会社として表彰することで、模倣となるやり方を嫌味なく伝えられるでしょう。

社員から感謝されている社員を表彰

社内の人間関係を循環したい、風通しの良い社風にしたいといった場合は、社員から感謝されている社員を表彰するのがおすすめです。

現場レベルで評価されている社員を表彰することで、影で頑張っている社員を讃えられるでしょう。決して目立つ存在ではない社員も公平に評価する会社という印象を与えることもできます。

社内表彰制度の選考基準とは？

先述したように、社内表彰制度の選考基準は独自に決定できます。選考基準に柔軟性を持たせることで、毎回異なる社員を表彰できる可能性が上がるでしょう。

公平性を保つ

社内表彰制度の選考基準でもっとも重要なのは、公平性を保つことです。毎回同じ社員や部署を表彰しないように配慮しましょう。

公平性が欠けた評価になると、社内の雰囲気が悪くなる要因となってしまいます。

他の社員が納得できる根拠を基に選定する

数値など客観的に見ても納得できる根拠がある社員を選定しましょう。

とはいえ事務など一般職の社員は、数値で評価しにくい部分があります。正確な事務作業に定評がある、事務処理能力が高いなど、ある程度は選考基準に柔軟性を保つようにして裏方として社内業務を支えている社員にも表彰の機会を与えましょう。

企業理念に沿って行動している社員を選定する

選考基準の透明性を保つためにも、表彰対象の社員が企業理念に沿って行動しているかについても検討しましょう。

業務をこなす中で、どのように行動すべきか迷うタイミングが多かれ少なかれあるはずです。そんな場合は、企業理念に沿って行動すべきだと示唆することができます。

社内表彰制度を導入したいならイベントプロデュース会社への依頼がおすすめ

社内表彰制度を実施したくても導入コストが気になり、実施に至らない会社は多いでしょう。そんな場合は、イベントプロデュース会社に運営を依頼するのがおすすめです。

イベントプロデュース会社とは、社内外向けにイベントや展示会を企画したりサポートしたりする会社のことを言います。

このような会社は内容問わずイベント運営に長けているため、自社に社内表彰制度の運営ノウハウがなくてもイベントを成功させやすくなるでしょう。

イベントプロデュース会社に社内表彰制度の運営を依頼するメリット

社内表彰制度の企画内容を伝えると開催趣旨に合う会場選定や装飾、運営などをトータルサポートしてもらえます。

イベントプロデュース会社は社内向けイベントを運営する上で注意すべきポイントに関するノウハウが豊富です。

たとえ社内にイベント運営に長けた人材がいなくても、イベントプロデュース会社の力を借りることで社内表彰を盛り上げる一大イベントにできるでしょう。

社内表彰のアイデアならトーガシにお任せを

イベントの主催や運営サポートを得意とするトーガシはこれまで数々のイベントを成功に導いてきました。

共同配送のパイオニアとして活躍するライフサポート・エガワ様の事例では、

- 会場選定
- ステージ演出
- 運営
- 空間装飾

など、トーガシが全体のディレクションを担当。

創立60周年パーティーということもあり、先方の「社員向けのパーティーを開催したい」「帰属意識を高めこれからリスタートしていきたい」という想いをベースにイベントのトータルプロデュースを行いました。

トーガシは社内表彰制度などイベントプロデュースに置いて、クライアントの想いを尊重したサポートを重要視しています。

実際ライフサポート・エガワ様からもヒアリングが丁寧だったと、ご好評いただいております。

社内向けイベントを開催するにあたって「何から始めたらいいのかわからない」「社内でイベントを運営した経験がある人材がいらない」など、企業が抱える悩みはそれぞれです。

トーガシは社内表彰制度などイベントの立ち上げから運営まで、トータルサポートを得意としています。

イベント立ち上げにあたり、

- 方針・目的
- 日時
- 会場候補案
- 誘致対象者
- プログラム・形式
- 概算予算

など決定しなくてはならないことは多岐にわたります。

イベント開催趣旨に沿って専門スタッフがーからサポートさせていただくので、ぜひ一度ご相談ください。

アイデアを工夫して社内表彰を成功させよう

日頃の感謝を社員に示し帰属意識を高めるには、社内表彰制度の導入がおすすめです。

イベントを成功させるためにも、トータルサポートが得意なトーガシにご相談ください。立ち上げから運営まで専門スタッフが最適な提案をさせていただきます。
社内表彰制度などの運営に関するご質問もぜひお待ちしております。